

平成 22 年度第 1 回 (通算第 32 回) MT 委員会 議事録

日時: 4 月 23 日 13:00-15:00

場所: 仁科記念棟 2F 会議室 (201 号室)

出席: 酒井(委員長)、久保野(CNS)、加瀬、福西、上垣外、櫻井、神原、久保、上野、上菔、森田、若杉、下浦(CNS)、上坂(オブザーバ)、本林(オブザーバー)、Henning(オブザーバ)、延與(オブザーバー)

欠席: 無し

(順不同・敬称略)

【報告】

1. H22年度MT委員会委員の交代

- H22年度MT委員会委員 運営調整会議(H22/4/15)にて承認。
- 酒井委員会からUEC委員長及び副センター長へオブザーバ参加の依頼。

2. MT変更 (比較的軽微な変更)

- イオン源・AVFトラブルの為 4月2-16日までの実験を二日遅れとした。
- 第23回MT委員会決定事項に従い、BigRIPS調整時間を data run と区別し追加、MT表に明示。→ 5-6 月のMT変更。関係者へは連絡済。同時に第30回MT委員会決定事項に従い、BigRIPS担当者をMT表に記載。

3. 加速器開発関係MS報告

- 3/9-10に70Znを使って、リニアックe04荷電変換膜の耐久試験を行った。
- 4/6-23に、238Uを使って、様々なスタディを行っている。
 - エネルギー3点 (11,14,15 MeV/u) での炭素膜および窒素ガスでの平衡電荷の測定
 - Heガス中での荷電変換断面積の測定 (11,14,15 MeV/u)
 - 様々な炭素材料膜の試験 (以下11 MeV/u)
 - 遅い回転膜の試験
 - fRCでの69+加速試験 など

4. 上期 PAC 準備進捗状況

- NP-PAC委員長: RNC CNS センター長間合意のもとTribble氏に依頼し、4/21に受諾された。
- NP-PAC: 課題募集中。5/7メ切。
- ML-PAC: RAL長期シャットダウンのため(H22/Aug~H23/Feb)今回RAL-PACは公募せず、RIBF非核分のみ募集し、ML-PAC委員による email 審査の予定。

【議題】

1. 前回議事録承認

2. MT決定の透明性向上に向けて

- RIBFユーザーグループのUEC委員長にMT委員会への参加を要請。
- 下期 MT案策定方針
 - BigRIPS関連実験について、利用一次ビームの長期的 (2年間) のプランを大枠で定めて、個別の計画を立てていくことが承認された。
 - これに沿って、向こう2年間の一次ビームの種類と時期に関する利用計画の大枠がRNC副センター長から提案された。
 - 本年度秋のBigRIPS関連実験について、SHARAQ+48Ca 及び 48Ca シリーズのみ行う、という二つの案が示された。どちらの案を採用するかはRNCセンター長とCNSセンター長の決定に従う。
 - ユーザーが MT schedule 決定プロセスに、より直接的に参加する方向で検討を進める。

- **BigRIPS実験に関するMT募集前倒し案の検討**

- RNC副センター長が次回NP-PAC (6/14-15)を含めた2週間程度来所する。本年度秋の個別のBigRIPS 実験課題の実際の割り当てについては、その時副センター長を交えて案を策定する。これに向け、他の実験課題に先行して秋のBigRIPS関連実験についてはMT割り当て募集を4月下旬-5月上旬に行う。

3. SCRITの実験課題募集について

- 実験課題募集要項に明示的に記載されていない装置を利用する実験課題提案について議論された。
- 従来からConstructionプロポーザルも実験課題プロポーザルも、SCRITに限らず申請を受け付け、PACにて審査していることが確認された。

4. 本年度MT委員会の日程

- 次回MT委員会は 5/18(火) 13:30-で調整。

(以上)